



「国引き神話」が語る 環日本海交流



西谷3号墓（出雲市大津町）出土の土器
これらの土器は、出雲地方の土器とは違う特徴を持つ。北陸から丹後地方にかけてのもと言われている。他の遺跡でも、北陸地方の特徴を持つ土器の出土例は多い。



小羽山30号墓（福井県清水町）
出雲を中心に分布する四隅突出型墳丘墓は北陸地方にも見られ、とくに小羽山30号墓は、出雲市西谷3号墓と同様の埋葬施設や副葬品の組み合わせを持つ。



九重土壙墓出土（安来市九重町） 無量寺B遺跡出土（石川県金沢市）
金沢市教育委員会蔵

鼓形器台
中央がくびれて上下が開く、鼓のような形をした器台（上に壺を乗せる台）山陰地方の弥生時代後期に特徴的な土器で、北陸地方でもよく似た土器がしばしば見られる。



佐太前遺跡出土（鹿島町宮内） 伝珍崎出土（西ノ島町珍崎）

陶質土器
まだ日本で本格的な窯で土器が焼かれる以前に、朝鮮半島で焼かれた可能性がある焼き物。



出雲国分寺跡出土の軒丸瓦・軒平瓦
全国的に見ても美しいこの瓦は、新羅の影響を受けているらしい。



韓国出土の瓦（慶州地方出土）
出雲国分寺跡の瓦とデザインの構成がよく似ている。
写真提供：金誠龍



流れついた韓国の容器
（鹿島町古浦海岸）

新羅

出雲

古志

古志郷、即ち郡家に属けり。伊弉那彌命の時、日瀨川を以て池を築造りたまひき。爾の時、古志の國人等到来りて、堤を築りて、即て宿居れりし所なり。故、古志と云ふ。
『出雲国風土記』神門郡古志郷の条より

（訳）古志郷の郷庁は神門郡家に附属している。伊弉那彌命の御代に、日瀨河の水を引いて池を築造された。そのとき北陸の人が来て堤を築いたが、この古志人がこの地で宿営したので古志というのである。
『修訂 出雲国風土記参究』より

スケールの大きい国引き神話

『出雲国風土記』の「国引き神話」には、現在の島根半島は海の向こうの国から引いてきた土地と記されています。それらのうち、東端の三種の崎は越の国（現在の北陸地方）から、西端の杵築の御崎は新羅国（現在の韓国）から引いてきたとされています。人工衛星も地図もないこの時代、正確な地理感覚にもついてもこのような神話が作られたという事実に驚かばかりです。またその雄大なスケールにも圧倒されます。

この環日本海交流は、神話の世界だけの作り話ではないようです。島根県は、この両地域と古代から深い関係にあったと推測させる資料があります。日本海のまわりの国々との交流について、今から二二〇〇年も前に、「国引き神話」はあらわしているのかも知れません。

弥生時代から北陸とは仲が良かった

島根県と北陸地方とは、弥生時代の終りに密接な交流があったと考えられています。たとえば、「四隅突出型墳丘墓」という出雲地方を中心に造られた特殊な墓が、北陸地方でも見つかっています。とくに出雲市の西谷三号墓からは、北陸で作られたと考えられる玉や土器が出土しています。これらは、出雲と北陸の首長同士が密接な結びつきをしていた証拠と言えます（詳しくは二巻を参照）。さらには日常に使われていた土器にも共通性が認められ、両地域のいっそう強い結びつきが推測されます。

四隅突出型墳丘墓が造られた弥生時代は、『出雲国風土記』が書かれる六〇〇年も前の時代ですが、「風土記」時代にも北陸と交流があったことは、文献から知ることができます。『出雲国風土記』には、越の人が現在の出雲市古志町付近にやってきた話をはじめ、両地域の交流をつかかわせる記事がかなり見られます。また『古事記』にも、同様に両地域の関係をつかかわせる記載があります。

今も昔も密接な関係の韓国と島根

島根県は現在、韓国の慶尚北道と友好関係を結んでいます。日常生活でも韓国のラジオ放送がはいったり、韓国の製品が海岸に流れ着いたりして、お互いを身近な存在と感じる機会も多いでしょう。古代から、朝鮮半島からの漂流者は海流の関係で、山陰地方によく流れ着いたと言います。島根県と朝鮮半島は、昔から自然に交流が生まれやすい位置にあったのです。

古代における朝鮮半島との関係は、文献などの資料からもわかっています。とくに半島の東海岸部を本拠地とする新羅との結びつきを思わせる資料が多いのは驚かされます。全国に建てられた国分寺のうち、出雲国分寺では、非常に珍しい新羅系の瓦を使っています。また『出雲国風土記』が作られるおよそ四〇年前に製作された、島根県で最古の仏像の一つと考えられる鯛淵寺の銅造観世音菩薩立像も新羅の影響を受けています（詳しくは六巻を参照）。

そのほか、古墳時代中ごろに朝鮮半島で作られたと考えられる陶質土器が、県内各地で見つかっていますし、古墳からは、大陸の影響がうかがえる装飾品などが数多く出土しています。

もちろんこれらすべてが、朝鮮半島との直接交渉でもたらされたとは限りません。しかし古代において島根県が、他の地域と比べて、より密接に朝鮮半島と関係を持っていたということは言えるでしょう。

絵空事ではなかった「国引き神話」

以上のように、「国引き神話」の対象となった地域とは、古代からすでに緊密な交流があったことがうかがえます。古代出雲人が雄大なスケールで描いた「国引き神話」は、実は古代出雲の環日本海交流史を物語化したものだった……。そんなふうに考えると、ロマンがますます膨らんでいきます。